

伊豆大島における測地測量結果について(2)*

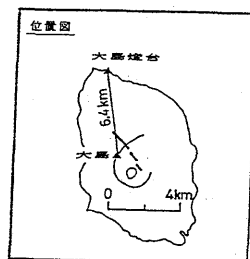
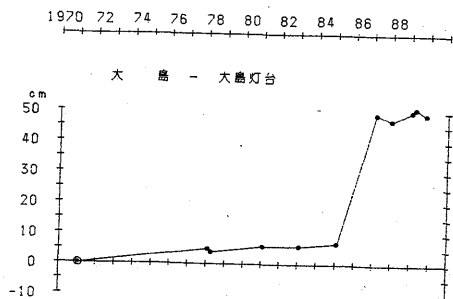
国土地理院

1989年8月から9月にかけて、伊豆大島において辺長測量と水準測量を実施した。辺長測量にはウィルドDI-3000を使用した。測量結果は第1表に示すように、1987年11月以降伸びを示していたが、今回は前回とくらべて2cmの縮みとなった。これまでの変化の様子は第1図に示す通りである。

第1表 大島-大島灯台間の辺長測量結果

Table. 1 Results of the baseline measurement between Ohshima and Ohshima-todai

区間	測定年	1970.12	77.12	78.02	80.12	82.12	84.12	87.01	87.11	88.12	89.02	89.09
大島-大島灯台		6381.90 ^m	.95 ^m	.94 ^m	.96 ^m	.96 ^m	.97 ^m	2.39 ^m	.37 ^m	.40 ^m	.41 ^m	.39 ^m



第1図 大島-大島灯台間の辺長変化

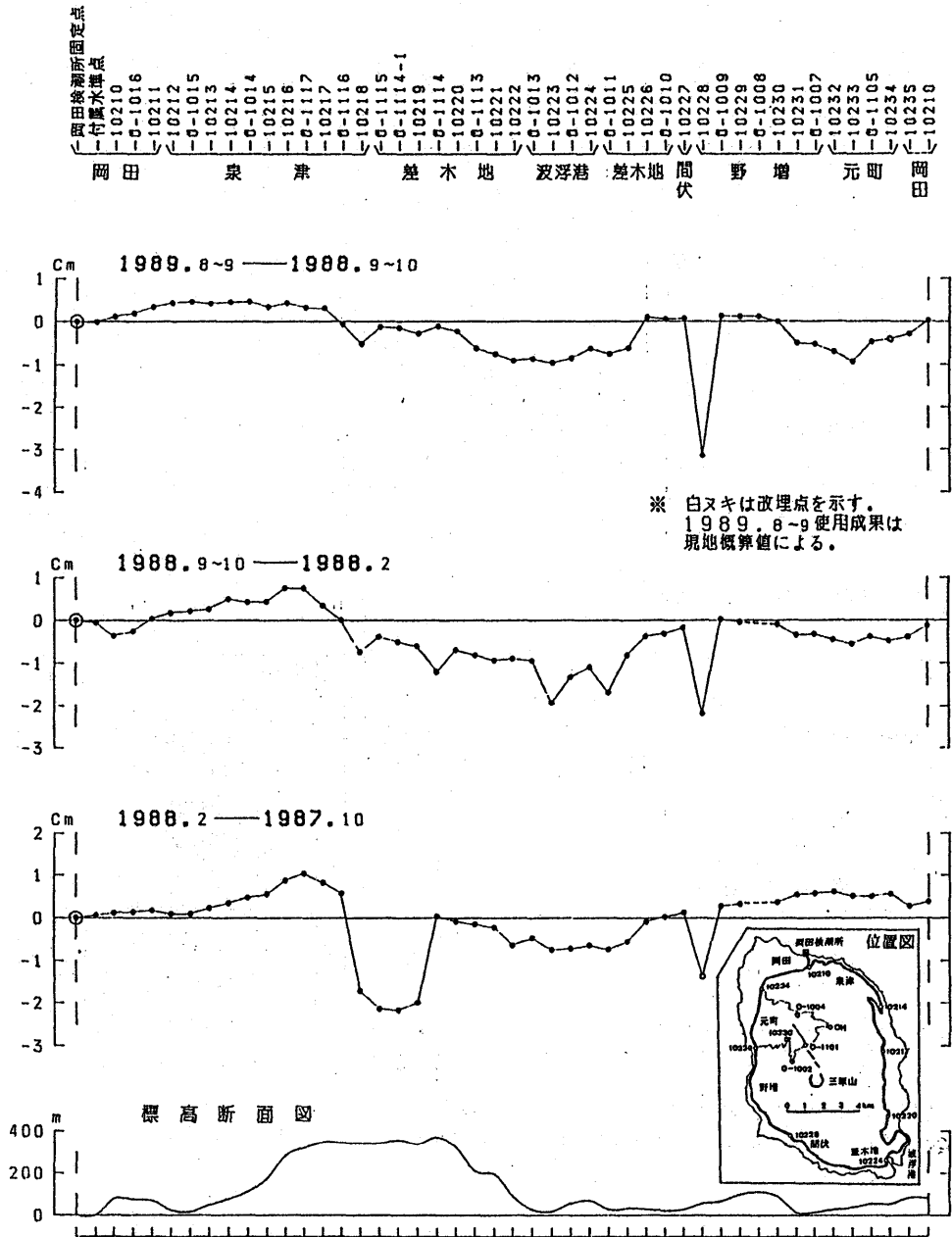
Fig. 1 Changes of the baseline between Ohshima and Ohshima-todai

第2図及び第3図は水準測量から得られた上下変動を示したもので、島を一周する路線については、上下変動のパターンはこれまでとほぼ同じであるが、変動量は減少しつつある(第2図)。一方、三原山登山道路の元町-御神火茶屋の路線では、第3図に示すように、前回は殆んど変化がなかったが、今回の測量で外輪山の湯場-御神火茶屋の区間で8ヶ月間で1cm前後の隆起が認められる。

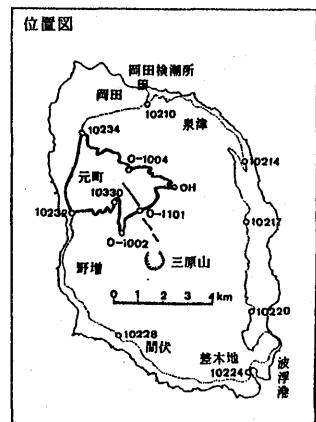
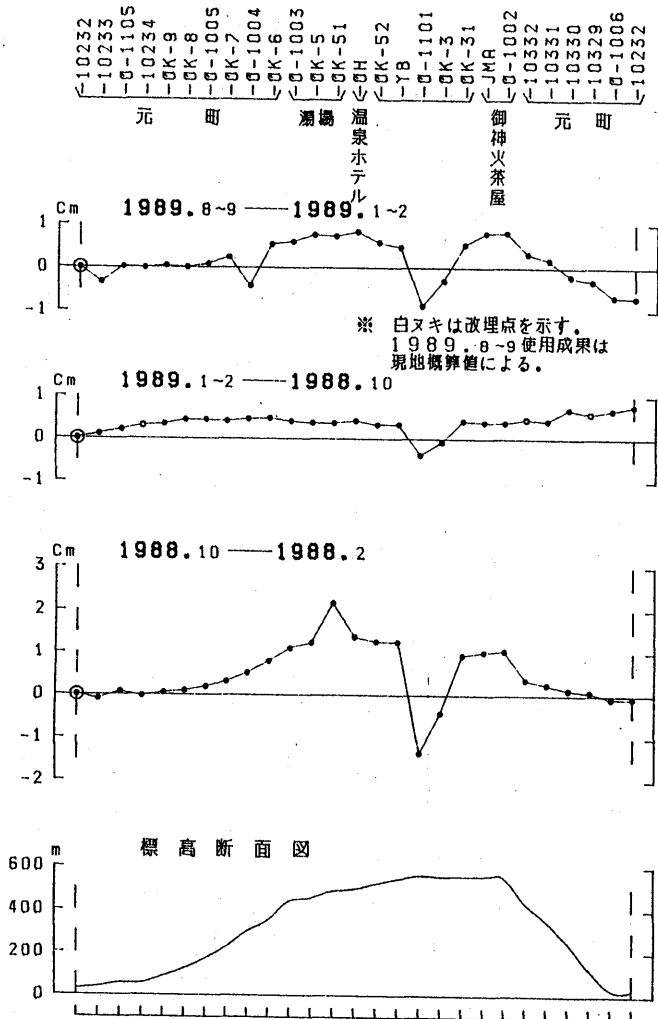
第4図は岡田験潮所及び周辺地域の験潮場における月平均潮位とそれらの差を示したものである。潮位記録からは特に大きな変化は認められない。

今回の測量で特徴的なことは外輪山地域の隆起と2cmの辺長の縮みである。今後の測量に注目する必要がある。

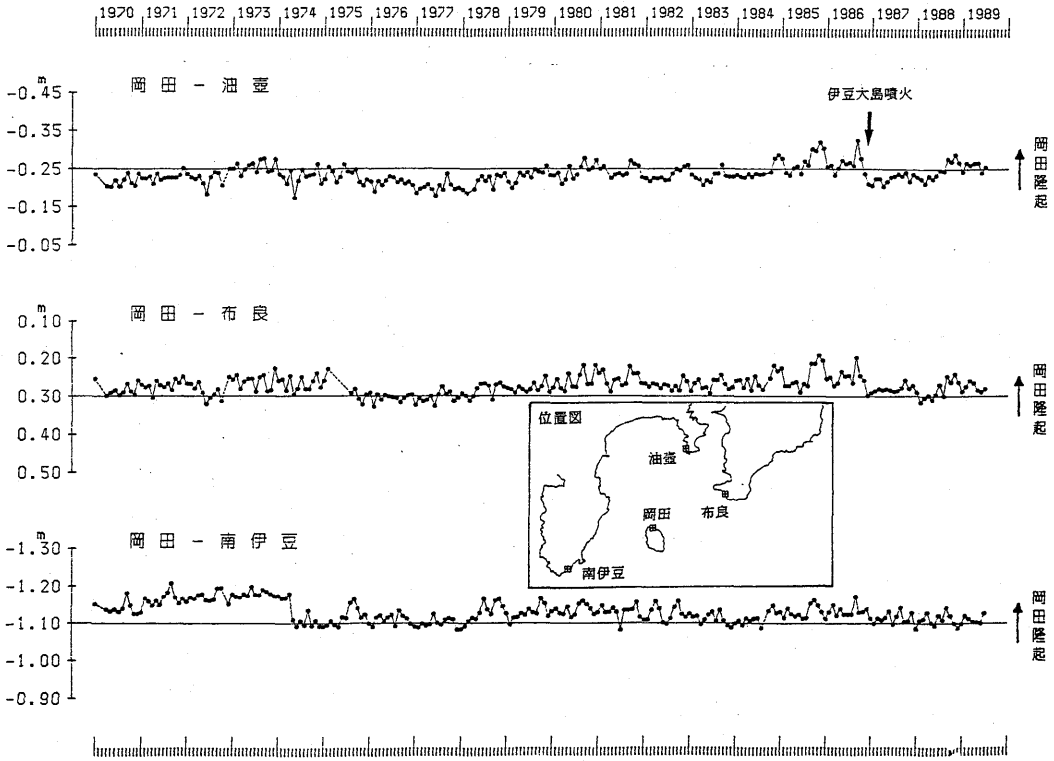
* Received Dec.24,1989



第2図 伊豆大島沿岸一周道路における水準点の上下変動
 Fig. 2 Vertical movements of the bench marks along the route the coast of the Ohshim Island



第3図 元町-御神火茶屋路線における水準点の上下変動
Fig. 3 Vertical movements of the bench marks along the route from Motomach to Gozinka-chaya



第4図 大島及び周辺地域における験潮場での月平均潮位と平均潮位差

Fig. 4 Monthly mean sea levels and differences of them obtained at the tidal stations in Ohshima and its vicinity

参考文献

- 1) 国土地理院 (1988) : 伊豆大島における測地測量, 噴火予知連絡会報, 39, 97-103
- 2) 国土地理院 (1988) : 伊豆大島における測地測量(2), 噴火予知連絡会報, 40, 14-16
- 3) 国土地理院 (1989) : 伊豆大島における測地測量結果について, 噴火予知連絡会報, 44, 113-115